



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 新日本理化株式会社

上場取引所 東

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 石野 淳 TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,754	6.9	153	—	409	—	282	—
25年3月期第3四半期	21,292	△3.0	△238	—	△144	—	△249	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,082百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	7.57	—
25年3月期第3四半期	△6.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	36,546	13,452	34.8	341.48
25年3月期	34,227	12,378	34.1	313.34

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 12,733百万円 25年3月期 11,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	34,100	19.7	650	—	930	—	630	—	16.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	38,008,906 株	25年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	719,612 株	25年3月期	719,129 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	37,289,642 株	25年3月期3Q	37,290,213 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などの効果により円安・株高が進行し、一部の企業で収益環境の改善や個人消費の持ち直しが徐々にみられるといった緩やかな回復基調となりました。しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れ懸念もあり、依然として景気の先行きには不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、原料価格の高騰に応じた販売価格の見直しや新製品の販路拡大を推進するなど精力的な営業活動を展開してまいりました。また、海外市場も視野に入れた新製品の開発に加えて、高付加価値製品の生産性向上や諸経費のコスト削減など全社を挙げて業績の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、長引く輸入品の流入や原料価格の高止まりが経営に大きく影響を及ぼしたことから、厳しい環境となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は227億5千4百万円（前年同四半期比6.9%増）となり、損益面では、営業利益1億5千3百万円（前年同四半期は2億3千8百万円の営業損失）、経常利益4億9百万円（前年同四半期は1億4千4百万円の経常損失）、四半期純利益2億8千2百万円（前年同四半期は2億4千9百万円の四半期純損失）を計上する結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

油脂製品セグメント

油脂製品部門では、ステアリン酸が金属石鹼・安定剤向けの販売は堅調に推移しましたが、トイレタリー分野向けでは輸入品の攻勢が止まらず販売および利益面に大きな影響を及ぼしたため、油脂製品部門としては、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

一方、アルコール製品部門では、繊維油剤、洗剤分野向け販売が好調に推移しましたほか輸出版売も増加し、販売数量、売上高ともに増加しました。また、主要販売先の化粧品・トイレタリー分野向けの界面活性剤も堅調に推移したため、アルコール部門では、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は70億8千7百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント損失は1億1千万円（前年同四半期は2億4千7百万円のセグメント損失）となりました。

石化製品セグメント

化成品部門では、可塑剤、ベンゼン誘導体とも輸入品の流入に苦戦を強いられたほか、建設業界での人材不足の深刻化により、着工数が伸び悩んでいることもあり、極めて厳しい販売環境にありました。

機能製品部門は、電機関連業界での需要低迷による影響はありましたが、自動車関連業界向け販売が順調でありましたほか、一部の開発品が売上計上に寄与したこともあり、販売数量、売上高ともに増加いたしました。しかしながら、輸出版売では欧州および中国での需要が依然として低迷を続けましたため販売が振るわず、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

樹脂添加剤は、国内販売では前年並みに留まりましたが、海外市場での販売が好調に推移しており、販売数量、売上高ともに大幅に増加いたしました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は136億2千3百万円(前年同四半期比9.6%増)、セグメント利益は2億4千3百万円(前年同四半期は1千3百万円のセグメント損失)となりました。

その他セグメント

その他セグメントにおきましては、防錆剤・水溶性切削油が前年を下回る低調な販売となりましたが、車両洗剤・業務用洗剤が引き続き好調に推移しました。また、商社部門では住宅関連業界や自動車関連業界向けに順調に推移しましたため、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

以上の結果、その他セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は20億4千3百万円(前年同四半期比10.7%増)、セグメント利益は2千2百万円(前年同四半期比12.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前年度末比+6.8%、金額で23億1千9百万円増加し365億4千6百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより前年度末比+5.2%、金額で9億2千7百万円増加の188億2千3百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券が増加したことなどにより前年度末比+8.5%、金額で13億9千2百万円増加の177億2千3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加しましたものの、流動負債その他に含まれる設備関係の支払手形や未払金が減少したことなどにより前年度末比△2.8%、金額で3億6千4百万円減少の128億4千4百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の増加などにより前年度末比+18.6%、金額で16億9百万円増加の102億4千9百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前年度末比+8.7%、金額で10億7千4百万円増加の134億5千2百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,238	1,815
受取手形及び売掛金	10,871	11,998
商品及び製品	2,276	2,258
仕掛品	1,266	1,480
原材料及び貯蔵品	1,116	1,136
その他	129	135
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	17,896	18,823
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,464	3,463
その他(純額)	5,885	5,911
有形固定資産合計	9,349	9,374
無形固定資産	76	66
投資その他の資産		
投資有価証券	6,506	7,756
その他	401	526
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	6,904	8,282
固定資産合計	16,331	17,723
資産合計	34,227	36,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,633	7,108
短期借入金	1,660	2,540
1年内返済予定の長期借入金	2,397	1,785
1年内償還予定の社債	237	37
未払法人税等	45	41
賞与引当金	243	78
その他	1,991	1,252
流動負債合計	13,208	12,844
固定負債		
社債	114	290
長期借入金	5,001	6,328
退職給付引当金	1,924	1,842
役員退職慰労引当金	49	53
負ののれん	224	137
その他	1,325	1,597
固定負債合計	8,639	10,249
負債合計	21,848	23,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,841	2,123
自己株式	△170	△170
株主資本合計	11,578	11,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	1,334
為替換算調整勘定	△673	△461
その他の包括利益累計額合計	105	873
少数株主持分	694	719
純資産合計	12,378	13,452
負債純資産合計	34,227	36,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,292	22,754
売上原価	18,200	19,382
売上総利益	3,091	3,372
販売費及び一般管理費	3,329	3,219
営業利益又は営業損失(△)	△238	153
営業外収益		
受取配当金	86	94
負ののれん償却額	89	86
持分法による投資利益	98	86
その他	20	105
営業外収益合計	294	373
営業外費用		
支払利息	100	98
その他	99	19
営業外費用合計	200	117
経常利益又は経常損失(△)	△144	409
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	26	22
その他	6	—
特別損失合計	32	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△176	389
法人税、住民税及び事業税	52	59
法人税等調整額	1	14
法人税等合計	54	73
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△230	315
少数株主利益	18	33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△249	282

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△230	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	555
為替換算調整勘定	6	12
持分法適用会社に対する持分相当額	63	199
その他の包括利益合計	68	767
四半期包括利益	△162	1,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△181	1,049
少数株主に係る四半期包括利益	18	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,016	12,429	19,446	1,846	21,292	—	21,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	330	823	1,153	189	1,343	△1,343	—
計	7,347	13,253	20,600	2,035	22,635	△1,343	21,292
セグメント利益又は 損失(△)	△247	△13	△260	19	△240	2	△238

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,087	13,623	20,711	2,043	22,754	—	22,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	406	965	1,372	163	1,535	△1,535	—
計	7,494	14,589	22,083	2,206	24,290	△1,535	22,754
セグメント利益又は 損失(△)	△110	243	132	22	155	△2	153

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。